

# 小畑 力人

オバタ リキト (Rikito Obata)

## 所属・学位

所属 大阪観光大学 大阪観光大学観光学部 教授

学位 経済学士 (立命館大学経済学部)

## 教育研究分野・キーワード

観光学：観光と地域創造 (まちづくり)、観光教育カリキュラム

高等 (大学) 教育研究：大学入試、高大接続、学士課程教育

日本の大学に於ける観光教育研究と人材育成

## 今年度 (2023 年) 教育研究の主要テーマ

- 1) 南信州・飯田フィールドスタディ：長野県飯田市は、住民自治による地域づくりで全国的に注目されています。前期科目「観光地域ブランド論」では 8 月 9~12 日、10 名の学生とともに 3 泊 4 日のフィールドスタディに参加して先進モデルを学びます。リニア新幹線に開通によって東京と飯田が 40 分で結ばれる「移動革命」、リニア時代の新しい飯田にまちづくりに向けた市と住民の「論議」も注目です。
- 2) 観光地域活性化とアフターコロナの観光：後期科目「地域振興研究」では、日本の大学に於ける観光学教育研究の歴史や課題を概観し、そのうえでウイズコロナからアフターコロナの観光を学生のみなさんと論議したいと思っています。堺と京都のフィールドワークもあります。
- 3) コロナ禍 (下) から復活した京都観光の実相と問題点：京都はふたたびオーバーツーリズムに見舞われているのではないかと思う今日このごろです。コロナ禍 (下) で「普段の京都」を再確認した京都の住民はうんざりです。「住んでよし、訪れて良しの国づくり」(観光立国宣言から) が、一つの出発点であり原点であった筈です。アフターコロナのサステイナブル・ツーリズムを探求したいと思います。
- 4) 新「共通テスト」実施と高等学校学習指要領の改訂および大学入学定員の厳格化から緩和のなかで激変する大学入試：何年も前から言われ続けてきた、大学の危機から閉鎖・消滅が現実のものとなりました。今、目の当たりにしている学生、卒業生が「母校」を失うようなことはできません。これが、最大のテーマです。

## 略歴・業績

□ 予備校・関西文理学院 (1972~1987)

□ 立命館大学の入試改革と大学改革 (1987~2003)

□ 和歌山大学 (2004~2012)

□ 追手門学院大学 (2012~2017)

□ 神戸山手大学 (2017~2019)

□学校法人初芝学園（2017～2020）

□大阪観光大学（2021～）特任教授

□公益財団法人「漢字能力検定」協会（2021～）参与

学会・委員等

□学会と研究

- ・ 日本教育学会（2004～）
- ・ 大学行政管理学会会員（1998～）
- ・ 大学教育学会会員（2004～）
- ・ 旅行ビジネス研究学会会員（2004～）
- ・ 観光研究学会会員（2004～）
- ・ 観光ホスピタリティ教育学会会員（2004～）、会長（2018～2021）
- ・ 国際熊野学会会員（2009～）
- ・ リメディアル教育学会結成呼びかけ人、会員（2008～）、副会長（2008～2012）
- ・ 観光経営学会結成呼びかけ人、会員（2020～）
- ・ 国際熊野学会会員（2010～）

<委員>

- ・ 観光庁「産学官連携観光人材育成会議」「観光系大学会議」委員（2006～2011）
- ・ 琉球大学外部評価委員（2008～2011）等
- ・ 全国日本学士会評議員
- ・ 学校法人立命館評議金
- ・ 立命館大学校友会顧問

<近著>

- ・ 変化する旅行ビジネス（共著） 2021.8 発刊

以上